

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立難波元町小	学校	児童数	34
-----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.11	20.55	30.52	40.95	45.55	9.08	138.10	19.24	53.07
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	13.13	20.63	35.75	36.33	30.50	9.57	131.25	11.89	50.71
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	19.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本年度の体力調査において、男子は握力・上体起こし・反復横跳び・50m走の4種目で全国平均および大阪市平均を上回った。女子は上体起こしと50m走において全国・大阪市平均を上回ったものの、それ以外の種目では平均を下回る結果となった。体力合計点については、男子は全国平均および大阪市平均を上回った一方、女子は全国・大阪市平均より2～3ポイント程度下回る結果であった。児童質問紙の「運動やスポーツをすることが好きですか」という問いに対しては、男子の肯定回答は52.4％で全国平均・大阪市平均を下回った。一方、女子は77.8％で、全国および大阪市平均を20ポイント以上上回る結果となった。また、1週間の総運動時間が60分未満である児童の割合は、男子22.7％、女子22.2％であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本年度の結果では、男子は握力・上体起こし・反復横跳び・50m走および体力合計点において全国平均・大阪市平均を上回った。女子については、上体起こしと50m走が平均を上回る結果となった。昨年度との比較では、男女ともに平均を上回る種目数が増加し、体力面における改善が見られた。一方、1週間の総運動時間が60分未満である児童の割合は、男子が全国および大阪市平均を大きく上回っており、女子も男子ほどではないものの平均を上回る状況である。こうした運動時間の不足は、体力測定の結果にも影響していると考えられる。

校区内には十分に運動できる場所が少ないことに加え、熱中症対策および低学年時の感染症対策による活動制限も影響していると推察される。今後は、学校内で確保できる運動量の増加や、活動内容の質的向上を図る取組が求められる。